

研究機関：広島大学

研究課題名	健常人における発汗負荷後の汗腺機能の解析
研究責任者名	広島大学病院皮膚科 講師 高萩 俊輔
研究期間	研究実施許可日 ~ 西暦 2027年3月31日
対象者	<p>2010年以降、広島大学病院皮膚科で皮膚生検あるいは皮膚腫瘍切除術を受けた方。  (本研究では、皮膚疾患を持たない健常な方から発汗誘発の前後に採取した皮膚組織を解析し、無汗症患者や発汗障害を持たない患者さんの皮膚組織と比較します。その際の比較対照には、これまで当科で発汗誘発後に採取した患者さんの皮膚組織や、正常の皮膚組織(発汗誘発なし)として、当科で皮膚腫瘍を切除した患者さんの腫瘍辺縁部の組織を用います。)</p>
意義・目的	<p>アトピー性皮膚炎やコリン性蕁麻疹、特発性後天性全身性無汗症などの皮膚疾患の病態には、発汗異常が関与します。これら発汗異常のある患者さんの皮膚では、発汗時に汗が皮膚表面に出てくる前に皮膚の下で漏れていることが知られています。しかし、同様の所見を健常な方の皮膚で比較検討した報告はなく、汗の漏れの病的意義は不明です。本研究では、健常な方の発汗前後の皮膚組織を採取して、皮膚疾患のある患者さんの皮膚組織と比較して解析することで、汗の漏出などの汗腺機能の病的変化を検討することを目的とします。</p>
方法	<p>当科で以前に皮膚を採取した方の皮膚組織を用いて、組織学的・分子生物学的な手法により汗腺機能の解析を行い、健常人サンプルと比較します。</p>
共同研究機関	<p>該当ありません。</p>
試料・情報の管理責任者	<p>広島大学病院皮膚科 クリニカル・スタッフ 柳田 のぞみ</p>
個人情報の保護について	<p>研究対象者の個人情報を保護するため、取り扱いには十分に注意を払います。症例報告書、書類及び書簡類、検体等はすべて氏名を削除し、研究対象者と関わりのない記述に置き換えて対応表を作成し匿名化を行うこととします。対応表は、個人情報管理者により管理され、匿名化した状態のデータのみを収集します。また匿名化された試料・情報について合理的な理由なく特定の個人の識別を試みる行為を禁じます。研究結果の報告、発表に関しては個人を特定される情報は公開しません。</p>
問合せ・苦情等の窓口	<p>〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3  Tel : 082-257-2351  広島大学病院皮膚科 クリニカル・スタッフ 柳田 のぞみ</p>